

復刊

いざみ



所沢図書館だより
復刊9号(通巻87号)
題字 高橋 玄洋 氏

目 次
P.1-4 おとなのための
児童文学講座
「赤毛のアンとモンゴメリ」
P.5-6 図書館まつり講演会
「宮澤賢治の恋」
P.7 トベアの分館めぐり
P.8 図書館整理期間ってなに？

平成二十六年 度 おとなのための児童文学講座

『赤毛のアンとモンゴメリ』

講師 小峰 和子 氏 (明治大学講師)

平成26年11月15日(土)・29日(土)

本館では、『赤毛のアン』シリーズと作者のモンゴメリの生涯について、二日間にわたり講義をしていただきました。その抄録を掲載します。

はじめまして、皆さまごきげんよう。私は、『アン』だけでなく、児童文学全体を研究しております。また、イギリスそのものにも興味を持ちまして、イギリスの歴史も調べています。

2008年に『アン』誕生100周年ということで、思い切ってカナダのプリンス・エドワード島(P.E.I.)に行ってきました。今回は、私が撮った写真を見ながら『アン』が生まれるまでとその後を作者のモンゴメリを中心にお話しさせていただきます。モンゴメリは、ルーシー・モード・モンゴメリと言いますが、モードと呼ばれていたようなので、私も彼女のことをモードと言わせていただきます。

彼女は1874年にP.E.I.に生まれました。幼くして母と死別し、キャベンディッシュの母方の祖父母の元で育ちました。その日々が無ければ『アン』は生まれなかったとモードは後に言っています。

9歳から日記や詩を書き始め、その後、友だちと物語クラブを作ります。これは『アン』の物語の中にも登場します。モードは自伝の中でこの頃を振り返り、「退屈な時は一瞬もなかったのです。生き生きとした空想力の世界は妖精の地図でいっぱい詰まり、そこを出入りする。パスポートを私は持つていたからです」と書いており、「文学という魔法の世界に足を踏み入れる第一歩だった」と述べています。

16歳の時、一年ほど再婚した父の家族と暮らしました。この頃の日記には、詩や散文が新聞に載ったことで「一人前の文士きどり」でしたが、原稿料を目

当てに新聞紙『サン』に送った物語が返送され、「ほおをびしゃりとぶたれたようにあとずさりしました」と書かれています。

20歳で小学校の教師として赴任します。この時、児童向けの雑誌社から5ドルの報酬があり、

「私のペンで稼ぎ出した最初のお金！」と大変喜んだようです。

23歳の時にハンサムなひとと婚約します。「彼は賢かったし、彼の妻になれば社会的地位と私の趣味に合った生活が保障される」と思いましたが、彼に

生理的嫌悪感を抱き、わずか10日で婚約破棄を申し込みます。

その後、理想とは正反対の農夫ハーマンと恋に落ちますが、結婚をしたら一生後悔すると悩みます。そのうち、祖父が亡くなり祖母の世話をしなければならなかったため、結婚にも至りませんでした。



《モンゴメリの生家》

この頃から、詩や物語が少しずつ新聞や雑誌に掲載されるようになります。

27歳の時に半年間、『デイリーエコー』紙の編集者として働き、コラムの編集と執筆を担当します。その後、祖母の元に帰って執筆活動を始め、25の短編が雑誌等に掲載され、ペンによる年収が500ドルになります。

この頃から同じ作家の卵であるスコットランドのジョージ・マクミランと文通を始めます。

この文通は生涯続きます。手紙には随所に『アン』そのものといった表現が書かれています。

ある日、新聞に連載を書くために切り抜きのノートを見ると、10年前に書いた「年老いた夫婦が孤児院の少年を養子にしようとしたが、何かの手違いで女の子がおくられてきた…」という走り書きを見つけました。これで長編が書けると思い、台所で書き始めたのが『赤毛のアン』の物語になります。

32歳の時にマクドナルド牧師からプロポーズを受けましたが、祖母の世話のため、すぐには結婚せずに、密かに婚約をします。

この頃、書き上げた『赤毛のアン』の原稿をアメリカの出版社5社に送りますが、なんと不採用になります。後に『アン』が大ヒットしたのを知った出版社の人たちは、きつと歯ぎしりして悔しがったことでしょう。

翌年、再度ボストンの出版社L. C. ペイジ社に送ったところ、続編も書いてほしいと言われます。1908年6月10日、初の長編小説『赤毛のアン』が出版されます。その時の日記には、「アンが言っていたように、今日は〈我が人生の一大転機〉でした。…それは、私にとって、誇らしい、素晴らしい、ぞくぞくするような一瞬であったと。…これが私の初めての本なのだ。偉大な本ではないかもしれない。でもこれは私のもの、私が作ったもの、私の創り出したものなのだ」と喜びが書かれています。モードは『アン』シリーズ以外にも短編や詩を発表しています。『ストーリー・ガール』について、「文学的な観点から見ても私が今までに書いたものの中で最も優れたものだと思っています」と相当の自信を持ってお

り、モードも一番好きな作品だと言っています。しかし『アン』は相応に『アン』の個性が強いからだと思われます。

37歳の時に祖母が亡くなり、その直後、マクドナルド牧師と結婚します。二人とも先祖がスコットランド出身だったため、2ヶ月間イギリス、スコットランドへ新婚旅行に出かけます。

この頃に書かれた『アン』シリーズについてマクミランへの手紙には、「この本を書くのは出版社と読者を満足させるため、私自身を満足させるためではありません。私は違ったタイプの本を書いてみたいのです」と作家としての苦悩も打ち明けています。その後の日記には『アンの娘リラ』の最終章を書きました。これは『アン』シリーズの最後です。…金輪際書きません」と書かれています。

1923年には『可愛いエミリー』が出版され、英国王立美術協会芸術部門の会員にカナダ女性で初めて推薦されます。

1926年には、ムスコカ地

方バラで休暇を家族と過ごした経験を活かし、『青い城』が出版されます。この本は大人のためのユーモア作品で、モードの著作で唯一、『アン』以外を舞台にした作品です。この作品についてマクミランへの手紙には「書評家たちは大いに意見が分かれていますようです。〈本年最高の作品〉と評する人がいるかと思うと、〈お涙ちょうだいの駄作〉と評する人もいます」と書いています。私は、最高の作品と評価している一人です。

53歳の時に『アン』シリーズの大ファンだったボールドウィン英首相からファンレターをもらいます。マクミランへの手紙にはこの時の気持ちを「私はこの手紙（英首相から）を持って〈恋人の小径〉に行き、読み上げました。私自身に対してだけではなく、何年も前にこの小径を歩いては夢をみていた少女のために…〈彼女の夢が何冊の本になつて、大英帝国の政治家を満足させたのです〉その少女も大喜びでした！」と綴っています。その後、モードは首相と英国皇太子に謁見を果たします。

1931年には『青い城』に続く大人のための作品『もつれた蜘蛛の巣』を出版しました。この本について、マクミランへの手紙には「この作品は、私の過去のどの作品とも〈違つて〉います。大人向けのユーモラスな作品にするつもりで書きました」とあります。

白黒映画『赤毛のアン』が1934年に公開され、大ヒットとなります。映画化されるとお金が入るので、夫が牧師でありお金に縁がないモードは助かったと思います。後に、ファンへの手紙に、映画を作つてほしいと映画会社に手紙を書いてくださいと書いていくくらいです。

61歳の時に新しい『アン』シリーズを書き始めます。これはモードの夫がうつ病のため、仕事ができなくなり、住んでいた牧師館から出て家を買うためのお金が必要になったからではないかと言われています。本当は『アン』を書きたくなかったのではないかと考える研究者もいます。

モードは、『アン』シリーズの印税でトロントの郊外のリバー

サイドに〈旅路の果て荘〉を買い転居します。また1935年には、大英帝国勲章を授与され、フランスの芸術院会員にも選ばれます。同年には、『アン』の幸福』が出版されます。この作品について「出版社の方が是非とも書いてほしいと言つてきていたのです。最初は『アン』シリーズの世界に〈引き返す〉ことなどとてもできないと思ひました。でも一旦その仕事に突入してみると、世界が発狂する（第一次世界大戦）以前の、あの黄金時代に引き返す道をまるで発見したかのように：それを楽しみました」とマクミランへの手紙にはあります。ですから、本当は書きたくなかったというのは言い過ぎではないかと思ひます。1938年の日記には『炉辺荘のアン』を書き始めました：たとえ一行でも創作を書くのは1年9か月ぶりです」と書かれています。夫の病気の影響が、彼女自身にも出て、だんだん体調が悪くなつていくことがわかります。

翌年、『炉辺荘のアン』が出版されます。この年に第二次世界

大戦が勃発します。1941年には、うつ状態から薬物への依存が始まります。この年のマクミランへの手紙には「もうすぐ次男は戦争にとられるでしょう。ですから、私は元気になろうという努力をいっさい諦めました。：私は、今まで、あなたの友情とお手紙ほど大切にしてきたものは、ほとんどありません。：おそらくこの手紙が最後のものとなるでしょう。」とあります。実際にこれが最後の手紙になります。その5か月後の1942年4月24日にモードは〈旅路の果て荘〉にて享年68歳で亡くなります。長年、脳溢血であったと言われてきましたが、『赤毛のアン』出版100周年の際に次男の娘にあたる人が薬物の過剰摂取による自殺だったと公表しました。これは大変ショッキングな発表でした。

『アン』の思い出の日々』の原稿は、モードが亡くなった当日に出版社に届けられています。モード自身が届けたのかどうかわかりませんが、亡くなった当日に遺稿が届けられたことは、新聞沙汰になりました。しかし、

遺稿は暗い話が多く、当時は部分的にしか出版されませんでした。しかし、2008年に原稿がそのまま出版されました。15の短編小説と41篇の詩によつて構成されたこの遺稿は彼女らしいお話になっています。

モードはモロイの共同墓地にモードの死後に亡くなった夫と一緒に入っています。



《モンゴメリの墓》

次に、モードの生涯が作品にどのように影響されているか見ていきましょう。『険しい道・モンゴメリ自叙伝』には、「グリーン・ゲイブルスにはディビットとマーガレット・マクニールという独身の兄妹が住んでいて、孤児となった親戚の女の子を養子にしていた」とあり、この話と先にお話した「年老いた夫婦が孤児院の少年を養子に：」の新聞記事を混ぜて『アン』のイ

メージができました。

なぜ、マシューとマリラを夫婦にしなかったのでしょうか。

私は、もし夫婦ならマシューがあんなにアンに肩入れしたら、マリラは、きっと面白くなかったと思います。また、兄妹だったことでマリラの過去の恋を書く事もできたのです。これが成功の要因の一つだと思います。

新聞記事についてモードは、「これだ、と私は思いました。」

…Anneというヒロインの名前は突然ひらめいて生まれ出てきたものです。…そのアンが自分の気持ちに私に訴え始めたのです。短命な連載小説などでアンの生命をしばせてしまっただけではない。私は決心しました。《本を書こう。小説のテーマはもう決まっている。後は一冊の本になるまで、テーマを拡大してゆけばいいだけだ》とあります。

また舞台であるアヴォンリーについては「ある程度までキャベンディッシュのことです。」

《恋人の小径》はお隣の農場のそばにある森の美しい小径のことです。…いろいろな場所にそれぞれ名前をつけるアンのくせ

は私自身のものです。私も農場の片隅という片隅に名前をつけたものでした。覚えているところでは《妖精の国》《女王さまの部屋》…とモードの実体験を元にしていたことがわかります。アンが誤って鎮静剤をケークィに入れてしまったエピソードは教員生活を送っていた時に、下宿先の牧師館の奥様がケークィの味付けに鎮静剤を入れてしまったことから採っています。

モードは自叙伝に、「もう一度この作品を書きなおすことがあればマシューがあと五、六年は生きるようにしましょう。でも『アン』を書いた時、マシューは死ななくてはならないと作者の私は考えたのです」とあります。モード自身も祖父の死によつて教員生活を辞め、結婚も先延ばしにしなければなりません。その経験から、アンに自己犠牲を強いるためには、マシューが死ななければならぬと考えたようです。

村岡花子さんの最初の訳は、マシューの死が大幅にカットされています。きつと戦後、若者たちを励まそうと思って訳した

のに、マシューの死があまりに悲しいので省略したのではないかと思います。孫の村岡美枝さんの新版では、誤訳や当時日本になかったので他のものに変えている箇所と共に、マシューの死が全面的に加えられています。



《グリーン・ゲイブルス》

最後に、児童文学の中に占めるモンゴメリ作品の位置について見ていきます。教訓物語ではない本格的な児童書としては、1865年のルイス・キャロルの『不思議の国のアリス』が最初です。同時期には、家庭小説として偉大なオルコット『若草物語』があります。このように児童文学は比較的最近のものであることがわかります。

1908年に『赤毛のアン』が出版されます。同じ時代の傑作としては、グレアムの『たの

しい川べ』、バーネットの『秘密の花園』、ウェブスターの『あしながおじさん』などがあります。『赤毛のアン』をはじめとするモンゴメリの作品は、世界の児童文学の傑作となっており、カナダが誇る大作家となっています。また、作品数も他の作家に比べてかなり多いことから、児童文学に占めるモンゴメリの位置は絶大なものがあると言えます。

なぜ児童文学は普遍的なのか、なぜ子どもの心をとらえるのか。モードは自身の作品について「私は自分の人生の陰の部分が作品に表れないようにすることができない。他の人の人生を暗くしたくはない。それよりも希望のメッセンジャー、喜びのもとでありたい」と日記に書いています。『アン』が他の児童文学と同様に、今も多くの人に愛されているのは、時代も場所も関係なく読む人の心を励ますからだと思います。

小峰和子氏 著書

『英米児童文学と黄金時代』

(ミネルヴァ書房)

『たのしく読める英米児童文学』

(ミネルヴァ書房)

第一五回図書館まつり講演会 平成二十六年十月二十六日

『宮澤賢治の恋』

講師 小川達雄氏



長年教師を勤められ、古典文学

がご専門の小川達雄先生に講演をしていただきました。賢治のふさと岩手県内に四十年お住まいになり、賢治と同じ盛岡中学、旧盛岡高農をご卒業なさった先生ならではのエピソードを盛り込み、楽しいお話満載の講演会となりました。その抄録を紹介します。



今日は決勝戦に出るような気分ではりきって参りました。ところが、自宅を出た時に自転車で転んでしまい、これはもう自転車に乗るな、ということなんだなと思いました。

そして

もうひと

つ、宮沢賢

治は、実は

自転車に

乗れない人だったのだろうと思われました。これはどこにも書かれてはございませんが、賢治は運動神経がひどく鈍くて、鉄棒にぶら下がったらそのまま何もできず、体操の先生から怒られてばかりいた不器用な生徒でございました。ただし、足は健脚でして、五十キロくらいでも歩いたようです。

大正三年、賢治は一八歳。盛岡中学を卒業すると間もなく、肥厚性鼻炎手術のため岩手病院に入院しました。その頃、賢治は日記代わりの歌を作っていました。看護婦宿舎を遠望して、こう歌っています。

まことかの

鸚鵡のごとく息かすかに

看護婦たちはねむりけるかな

看護婦宿舎を見るには、自分の病室から遠征して医局の上に来なくてはなりません。県庁の後ろが

二階建て看護婦宿舎で百メートルは離れていたと思います。

そして、なぜ「鸚鵡」なのか。

看護婦の帽子、白衣の肩や手首のふくらみから、鸚鵡への連想と賢治のロマンが芽生えました。鸚鵡は当時珍しい鳥だったはず。賢治は珍しいもの、ヨーロッパ風のものが大好きなのです。

「息かすかに」は、人間の生臭さを消して看護婦たちの寝ている姿を崇めている所がおもしろい。そして「まことかの」という言葉を使つて二重構造になっています。

自分の気持ちか本当かどうかと、本当に看護婦たちが息かすかに眠っているということ。この表現はとても優れていて、プロでもなかなか使えない言葉です。一八歳の少年が使うことに、賢治はやっぱり詩人なんだなと思います。

十秒の碧きひかりの去りたれば

かなしく われはまた窓に向く

十秒は脈拍を取る時間だと長い間思われていましたが、そうではなく体温を記録する時間というのが私の解説です。「碧きひかり」というのは、「光の詩人」と呼ばれる

賢治らしい表現です。看護婦を崇める表現で、光にあこがれる自分の希望でもあり、部屋の情景でもあります。

「かなしく」は涙がでる悲しさの他に、愛おしい哀しさの意味もあります。看護婦への届かぬ恋の思いが悲しく、また人への愛情を抱いたそんなわが身が愛おしいのです。ですから、ひらがなで書かれているのです。賢治は、ひらがなと漢字の書き分けは確かなものがありまして、わかっている人だなと感心いたします。

そして、「われ」という表現は反射指示です。すぐ自分へ向かっていくというのが、賢治が並々ならぬ詩人であり、深みがあるということがいえるのです。

すこやかに

うるはしきひとよ 病みはてて

わが目黄いろに 狐ならずや

自分はこずるい狐ではないかという反省の歌です。この歌には散文の要素があります。賢治の後の童話、「土神ときつね」はさくらの木に恋をする土神と狐の物語ですが、この童話の世界が芽生えてい

るのです。その辺りに重点を置く
と、この歌は物語の雛型になって
います。このように賢治の歌には
歌そのものと言いつてもいいもの
があり、歌人ではないというところ
がおもしろいのです。

「うるわしきひと」というのは、
最高の賛美といえます。「まことか
の鸚鵡のごとく」と同じ賛美です。
この素晴らしい単語をどこから学
んだかわかりませんが、賢治は教
科書を超えて察して、偉い人
は本当に偉いものだなと思います。
「わが目黄いろに狐ならずや」
は散文の要素が入っているから純
粋な短歌ではないのです。雑なと
ころが入っているから詩的な感じ
もします。ご機嫌取りをしている
自分はいやしいのではないかとい
う意味です。

岩手日報昭和四十七年二月三日
の記事「宮沢賢治 初恋の人わか
る」に、看護婦高橋ミネさんの写
真が掲載されています。『宮沢賢
治とその周辺』という本に収録さ
れています。私もこの方にお目
にかかることができたのに、残念な
がらチャンス逃がしてしまいました。

桑つみて きみをおもへば

エナメル 雲はてしなく

北にながる 挿入歌

退院してからの歌です。

君に意志が通じないから、暗い
エナメルのように塗りつぶした空。

「桑つみて」のつむは、万葉で
は恋の動作です。でも賢治は自覚
していない。自覚なしでこの言葉
を使うことが賢治のすごさです。

「きみをおもへば」につながります。
北は彼女のいる所。盛岡を指し
ます。彼女の実家は、隣の日詰町
の八百屋でした。

いなびかり

またむらさきにひらめけば

わが百合は 思ひきり咲けり

雨に打たれて思いきり咲く山百
合は自分、自分の恋の運命をかけ
て見つめる。電光のきらめく中、
砕けるなよという想いで見つめる
恋のせつなさを歌っている。散文
詩「ガドルフの百合」の主人公は、
百合の崩落を見たといいます。こ
れが賢治の恋の終わりであります。

賢治は昭和五年頃のノートに、

謎のようなメモを記しました。

「病院木村ト一目ミル」

「木村とふたたび見る。機もあ
り 廊柱の陰影もあり。」

これは中学を卒業した翌年のこ
とで、旧友・木村雄二に誘われ、
病院でその人を「一目見」た、と
いうのでしょうか。それは切ない思
いの確認でありました。彼女は
その頃、札幌の鉄道病院にいたか
らそれは間違いだという説もあり
ます。でも鉄道病院はこの日より
二ヶ月後に設立されているのです。
だから賢治は、確かに彼女を見た
ということが言えるのです。

彼はその後いつまでも彼女のこ
とを思っておりまして、「丘」とい
う詩を作りました。この詩は昭和
七年頃、亡くなる寸前に作った未
定稿の文語詩です。この時、妹に、
「おれさ、なつてもなくなつたつ
てこの詩があるもや」

と言っています。俺になんにもな
くなくなつて、この文語詩がある
からこの文語詩を大切にしてくれ
というのが彼の遺言でもあります。

この「丘」の第二節と五節の詩
碑が昨年、紫波の城跡に建てられ
ました。私も建立の役員をしまし

て、講演もいたしました。

この詩にある「二本の杉」は宮
沢賢治の魂の場所、いついつまで
も恋の心が残っている場所です。
賢治の恋はチグハグでございまし
て、恋愛ではなく片恋なのです。

彼の詩の中では、心に宇宙を描
いて気持ちは果てしなく動くので
す。賢治の世界を知ると、人間の
心ははるばる広くいくんだな、暗
い心ではなく明るい心で暮らして
いく事が出来るんだなと思います。
賢治は恋を得ることは出来ないま
せんでしたが、最後まで明るい気
持ちでいて、そんなところが色々
と学ぶことがあると思うのです。

賢治の作品は心を自由にしてく
れ、解釈は果てしもないところが
素晴らしいのです。

ご静聴ありがとうございました。

賢治と関わりのあった人たちの
中で幼少期を過ごされ、賢治と同
じ風景を眺めてこられた先生の思
い出などを聞き、一層賢治のこ
とが身近に感じられた講演でした。

小川達雄氏 著書（河出書房新社）

『盛岡中学生 宮沢賢治』

『隣に居た天才』

トベアの分館めぐり

第7回

椿峰分館

椿峰分館【基本情報】

〒359-1145 所沢市山口 5267

TEL 04(2924)8041 FAX 04(2928)8148

西武狭山線 下山口駅より徒歩 15 分

西武バスまたはところバス南路線(山口循環コース)「図書館前」バス停より徒歩 1 分

ぼくは図書館のマスコット
「トベア」。7回目は、
椿峰分館を紹介するよ♪



森田分館長さんこんにちは！
今日は案内、よろしくね♥



月に二回、おはなし会をやって
いるんだね。
みんな楽しそうに聞いているね！
今度、僕も行ってみようかな。



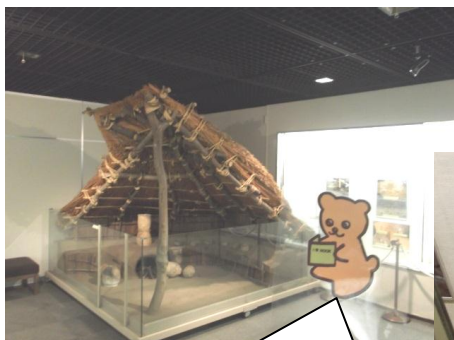
おはなし会のときに
みんなと作った工作
で遊べるコーナーが
あるよ。
どれも楽しくて夢中
になっちゃうね！



所沢出身の歌人・三ヶ島葎子
の生涯について「所沢文学散
歩」という講演会を行っている
んだって！
(山口まちづくりセンター
山口公民館グループ共催)



すごーい！窓の外はみどりで
いっぱいだ！！
自然に囲まれて森にきたみたい
だね。



館内には埋蔵文化財展示室が
あるよ！昔の人はこんなおう
ちに住んでたんだね！



こっちは土器だー！！
すごいねー、ドキドキし
ちゃうね！！



椿峰分館のスタッフの皆さん、今日は案内
してくれて、どうもありがとう！
皆さんもぜひ、椿峰分館に来てみてね★

図書整理期間ってなに？

所沢図書館では、図書整理期間として毎年2月に約1週間休館しています。期間は本館と分館とで重ならないように日程を調整しています。この期間、「職員はお休みしている。」と、誤解をされている方はいらっしゃるでしょうか。静まって見えますが、図書館の中で職員は仕事をしています。運動量としては平常時と比べてむしろ多めかもしれません。

具体的には次のような作業が行われています。

第一に、蔵書を確認します。お探しの本が見つけやすいように、日頃から書架整理に努めています。が、1年に1度、書架に並んでいるすべての本のバーコードを1冊1冊ハンディ端末へ読み込ませ、実際に書架に並んでいる本のデータと蔵書のデータとのすりあわせを行います。職員全員で広い館内を分担し、数日かけて行います。

第二に、新聞の切り抜き作業をします。これは、前年度の新聞（朝日・読売・毎日）の埼玉版を保存

するためです。単純な作業ですが、1年分をまとめて行うので時間がかかります。

また、返却ポストへ返却された本の返却処理、予約のあった本の準備、新たに蔵書とする本の選定、購入後の検品、ご寄贈頂いた本の整理、装備等々と、日常の業務は平常どおり行われます。

その他に、大がかりな書架の清掃や配置換え、施設の修繕など、開館中の静かな館内ではできない作業の実施をこの期間に予定することもあります。

今年度、本館では、トイレ排水管改修工事を行いました。このため、休館の期間を通常より延長することとなりました。大変ご不便をおかけいたしました。が、利用者の皆様のご協力により、無事に排水管の交換を行うことができました。ありがとうございます。

かつて図書整理期間は約2週間でした。パソコンやシステム等の機能の向上もあり、現在は半分の1週間程となっています。

職員にとっては、また新たな気持ちで利用者の皆様を迎えるための、1年の区切りのような期間でもあります。今後も利用者の皆様にとつてのよりよい図書館づくりのために職員一同努めてまいります。



編集後記

◆もうすぐ、航空公園は桜の季節。今年はお花見できるかしら。(T)
◆花ふぶき、花がすみ、花いかな...春の言葉って素敵です。(K)
◆暖かくなってくると海が恋しくなってきました。(T)

◆夏は素麺、秋には秋刀魚、茸等々、冬は鍋で春は？今空腹です。(Y)
◆梅に桜、春は花盛り、桜餅に柏餅、私は食べ盛り。(S)

編集発行：所沢市立所沢図書館

〒359-0042 所沢市並木 1-13

ホームページアドレス

パソコン

<https://lib.city.tokorozawa.saitama.jp>

携帯電話

<https://lib.city.tokorozawa.saitama.jp/k>

電話 / FAX

本館 04-2995-6311 / 04-2992-1421
所沢分館 04-2923-1243 / 04-2928-8195
椿峰分館 04-2924-8041 / 04-2928-8148
狭山ヶ丘分館 04-2949-1193 / 04-2949-8577
松井小学校図書館 04-2992-2796 / 04-2992-2797

富岡分館 04-2943-3636 / 04-2943-6680
吾妻分館 04-2924-0249 / 04-2928-8250
柳瀬分館 04-2944-4023 / 04-2945-7236
新所沢分館 04-2929-1905 / 04-2929-1906